

U12マンツーマン推進講習会資料
マンツーマンコミッショナー（MC）の
具体的な動き（赤旗以降）

広島県バスケットボール協会U12部会
コミッショナー部 山本、津田

第39回 中国ミニバスケットボール交歓大会（鳥取大会）
審判・MC連絡会議の資料をベースに作成しました

MCの具体的な動き

- ① 「赤色（警告）」の旗を上げる
- ② ゲームを止める
- ③ MCがコートに入る
- ④ 両チームの指導者がTO席前に集まる
- ⑤ 指導者に違反の事象を説明する
- ⑥ 該当するチームの選手に指導者が説明をする
- ⑦ 該当しないチームの選手はコート内に待機させる
- ⑧ 1回目であれば警告を与える
2回目以降であればマンツーマンペナルティ（M）を宣告する
- ⑨ マンツーマンペナルティ（M）のフリースローが与えられる
- ⑩ 試合が再開される

① 「赤色（警告）」の旗を上げる

- 黄旗（注意）は**5秒程度**振ります
- 赤旗は掲げるのみ（振りません）
- 審判は旗を気にしなくていいです

② ゲームを止める

- ゲームを止めるためにコミッショナーがブザーを鳴らします
- 審判は、ブザーが鳴ったのを確認し、笛を鳴らして試合を止めてください
- 時間の管理、開始の位置は、コミッショナー（サブ）が把握します

③ MCがコートに入る

- **メインMCのみコートに入ります**
- **MCはコートに勝手に入れません**
- **審判（クルーチーフ）の許可を得て初めてコートに入れます**
- 必ず審判（クルーチーフ）の方がMCにコートに入る許可を出してください

④ 両チームの指導者がTO席前に集まる

- **MCは指導者を集められません**
- 審判は両チームの指導者をTO席前に集めます

⑤ 指導者に違反の事例を説明する

- 違反の事例はMCが指導者に伝えます
審判（クルーチーフ）はそのそばにいてください
- MCが事象の説明をするのは**10秒程度**です
- もし、指導者が御門を呈したり、受け入れなかったり、反論した場合、審判はテクニカルファウルを宣告してください

⑥ 選手に指導者が説明をする

- 指導者が説明する際、MCはそのそばにいます
(説明が間違っていないか、個人に責任を押し付けるような発言はないか、確認します)
審判 (クルーチーフ) はそのそばにいてください
- インテグリティに違反するようなことがあった場合、MCは審判に伝えます
審判はワーニング or テクニカルファウルを宣告してください
- 指導者が選手に説明をするのは**30秒程度**です
- 指導者の説明が長いようなら、審判 (クルーチーフ) は注意してください (従わない場合はワーニング or テクニカルファウル)

⑦ 該当しないチームの選手はコート内に待機させる

- 該当しないチームの選手はセンターサークル付近に待機させてください
- その選手たちは、審判（アンパイア）が管理してください
- 選手同士で話をするのは問題ありません
しかし、指導者が選手に指示をするのは禁止です
- 上記の行為を行った場合、審判が注意します
(従わない場合はワーニング or テクニカルファウル)

**⑧ 1回目であれば警告を与える
2回目以降であればマンツーマンペナルティ
(M) を宣告する**

- 赤旗1回目で警告、赤旗2回目でマンツーマンペナルティです
(黄旗では試合を止めません)
- 赤旗2回目以降はマンツーマンペナルティを宣告します
審判がその処置を行ってください
- 赤旗1回目か2回目かはコミッショナーがカウントしてください
審判とコミュニケーションをよく取ってください

⑨ マンツーマンペナルティ (M) のフリースロー が与えられる

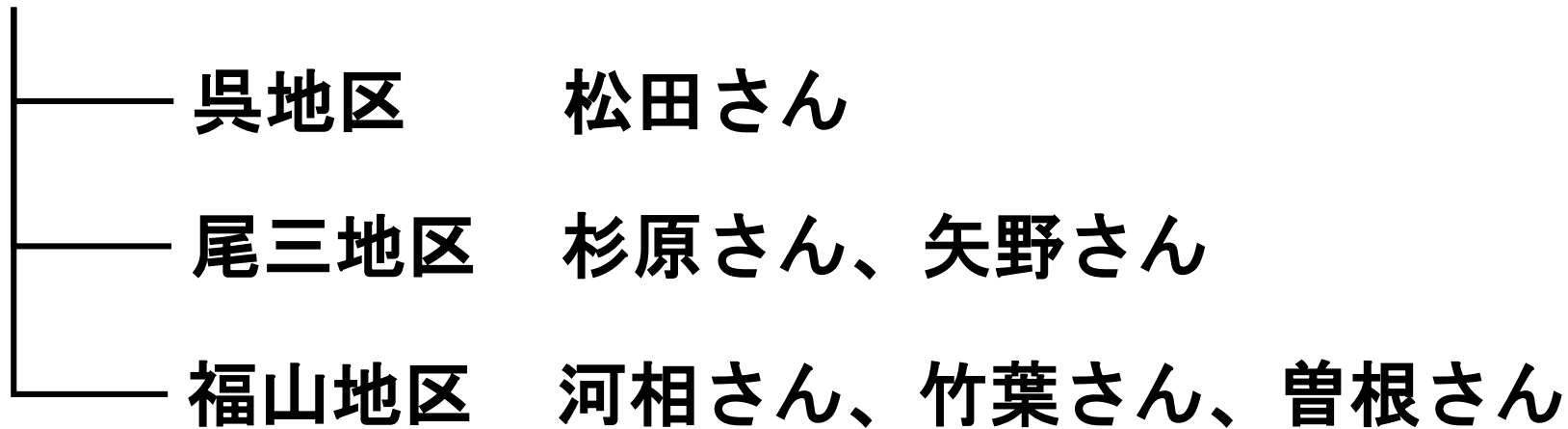
- テクニカルファウルの措置と一緒にです
- フリースローは**1本**

⑩ 試合再開

- **フリースローを打ったチームのスローインで再開する**
- **スローインの場所はオポジットのセンターラインの延長線上です**

広島県U12コミッショナー一部

部長 山本 (広島地区)
副部長 津田



各地区のコミッショナー担当の方に何でもご相談ください！
皆様のご協力に感謝します！